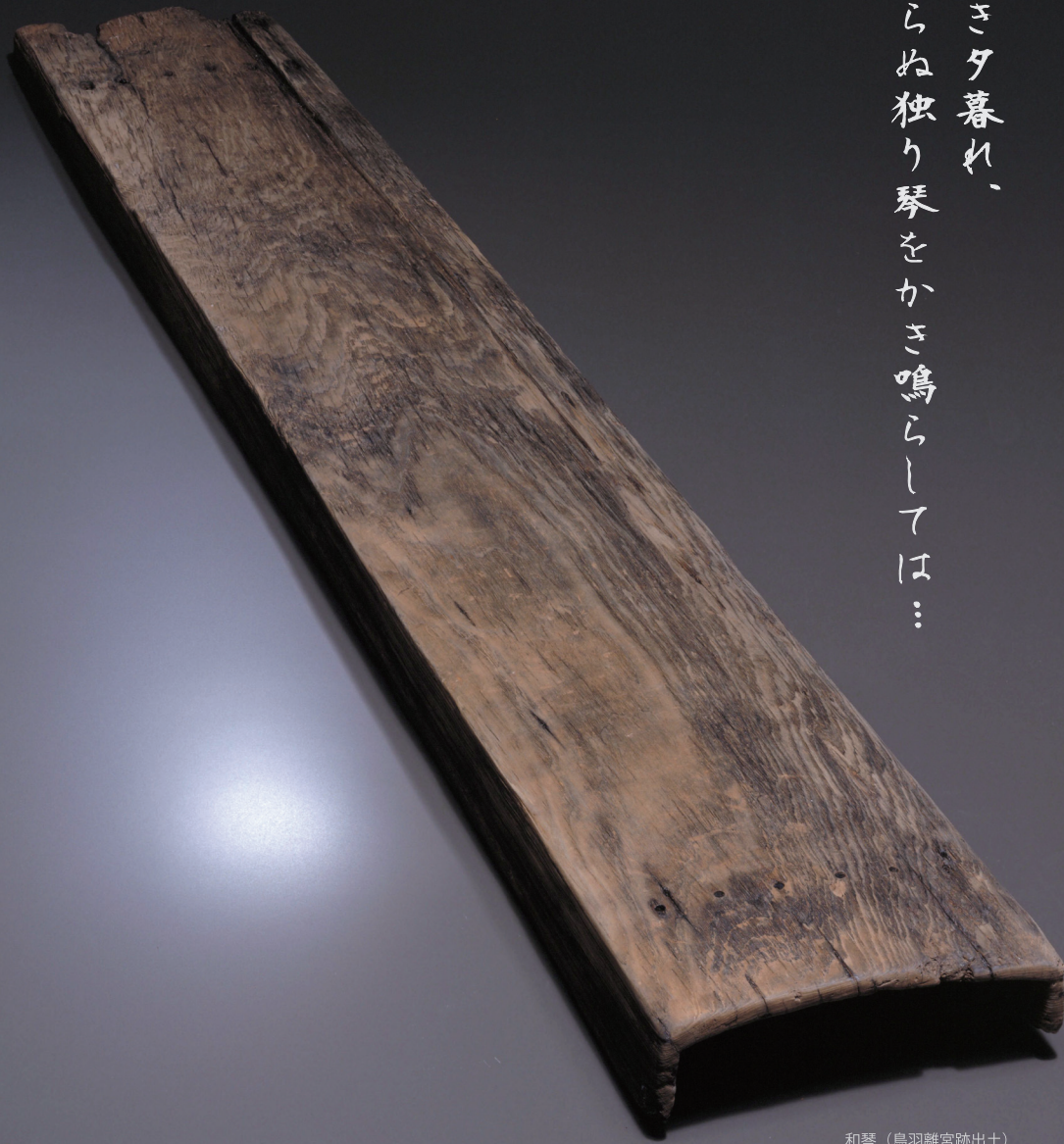


Kyoto City Archaeological Museum
京都市考古資料館特別展示

The Heiankyo of the
Murasaki Shikibu
—Tales from the Underground—

2024.2.17(土) - 6.23(日)



和琴（鳥羽離宮跡出土）

風の涼しき夕暮れ、
聞きよからぬ独り琴をかき鳴らしては…

紫式部

の平安京

「地中からのものがたり」

入館無料

京都市考古資料館1階
特別展示コーナー

主催：京都市考古資料館・(公財)京都市埋蔵文化財研究所
後援：歴史街道推進協議会  歴史街道



「内裏登華殿」跡



「高陽院」跡の洲浜と景石



「河原院」跡の洲浜



「高陽院」跡出土土経硯



「齋宮」邸跡出土土人形代



「齋宮」邸跡出土墨書土器



火災で焼けた内裏の建物の壁土



仁和寺出土緑釉瓦

『源氏物語』の作者である紫式部が生まれ育ち、生涯を過ごした平安京。紫式部が生きた時代は、延暦13年(794)に平安京が建都された約200年後、藤原氏が摂政・関白として、政権を掌握した摂関政治の最盛期にあたります。『源氏物語』は中宮彰子に仕えた紫式部が、道長の庇護を受けつつ、宮廷社会を舞台に平安貴族の内実を優艶に描き出したものです。

紫式部が生きた、この時期の平安貴族の生活はどのようなものであったか。今回の展示では、地中から見つかった発掘調査の成果に基づき、その実像の一端をご紹介します。『源氏物語』の中心舞台である内裏の姿や、藤原道長・頼通の時代を中心に、紫式部や藤原氏にかかわる京都の遺跡・遺物を展示します。また、『源氏物語』に登場する「齋宮」の邸宅や、光源氏のモデルになった源融の邸宅跡と推定される遺跡の発掘調査成果も展示します。

展示内容

- 1 夕暮れに琴をひく紫式部
- 2 内裏-火災に見舞われる帝の邸宅
- 3 高陽院-藤原頼通の邸宅
 - ・小野宮-藤原実頼の邸宅
 - ・土御門殿-藤原道長の邸宅
- 4 紫式部ゆかりの寺院
- 5 「齋宮」の邸宅
- 6 光源氏の豪邸「六条院」のモデル-源融の邸宅推定地-

関連イベント

遺跡見て歩き

- ① 3月9日(土) 10時~: 平安宮内裏跡を中心に
- ② 5月12日(日) 10時~: 土御門殿跡を中心に

時間: 午前10時から約2時間

場所: 各回の集合場所は異なるので、京都市考古資料館のホームページをご確認ください。

定員: 各回10名(事前予約制・先着順)

料金: 1人2,000円(保険料込み、当日受付でお支払い)

申込: 1ヵ月前から申込受付を開始します。

館長展示解説

- ① 3月17日(日)
- ② 4月14日(日)
- ③ 5月3日(金・祝)

京都市考古資料館3階旧貴賓室にて山本館長が特別解説。1階の特別展示コーナーでは、展示資料をみながら分かりやすく丁寧にお伝えします。

時間: 午後2時から約1時間半

場所: 京都市考古資料館1階特別展示コーナー

定員: 各回10名(事前予約制・先着順)

料金: 1人1,000円(当日受付でお支払い)

※上記の関連イベント(川柳を除く)は、事前予約制です。開催日の前日、午後5時までに京都市考古資料館の受付へ直接申込または電話、Fax、e-mailにてお名前とお電話番号をお知らせください。

記念講演会

- ① 4月20日(土): 山本 雅和(京都市考古資料館 館長)
「源融の邸宅跡か!? -平安京右京三条三坊五町の調査-」
- ② 6月8日(土): 鈴木 久史(京都市文化財保護課)
「瓦が語る源氏物語の舞台-宮・京・寺院-」

時間: 午後2時~3時半

場所: 京都市考古資料館3階旧貴賓室

定員: 各回30名(事前予約制・先着順)

料金: 1人1,000円(当日受付でお支払い)

紫式部川柳コンクール

- 募集期間: 2月17日(土)~6月2日(日)
結果発表: 6月16日(日)

テーマ: 特別展示「紫式部の平安京-地中からのものがたり」の展示品等を題材とした作品で、未発表のもの。

応募方法: 応募用紙に作品、ペンネーム、氏名、メールアドレス、電話番号、住所を記入し、館内の応募箱に投函。Eメール、郵送での応募も可能。



入館無料

開館時間 午前9時~午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は開館、翌平日が休館)

アクセス バス「今出川大宮」下車すぐ

バス「堀川今出川」下車西へ徒歩2分



京都市考古資料館
Kyoto City Archaeological Museum

京都市上京区今出川通大宮東元伊佐町265番地の1
TEL.075-432-3245(代) FAX.075-431-3307
E-mail: museum@kyoto-arc.or.jp

京都市考古資料館

<https://www.kyoto-arc.or.jp/museum/>
<https://www.facebook.com/kyotomaibunken>